



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月5日

上場会社名 株式会社よみうりランド 上場取引所 東
 コード番号 9671 URL http://www.yomiuriland.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 美邦
 問合せ先責任者(役職名) 上席執行役員 経理担当 (氏名) 町田 茂樹 (TEL) 044-966-1134
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,998	3.1	1,962	18.6	2,197	14.9	1,436	12.8
2019年3月期第3四半期	15,518	1.4	1,654	22.4	1,912	21.6	1,272	△36.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 657百万円(166.2%) 2019年3月期第3四半期 247百万円(△89.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	186.84	—
2019年3月期第3四半期	165.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	65,377	29,395	45.0
2019年3月期	67,420	29,124	43.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 29,395百万円 2019年3月期 29,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,350	6.3	4,230	29.6	4,500	27.2	3,050	30.4	396.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	8,352,202株	2019年3月期	8,352,202株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	665,968株	2019年3月期	665,464株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	7,686,537株	2019年3月期3Q	7,687,105株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、6月から7月にかけての天候不順や、9月の台風15号、10月の台風19号や台風21号がもたらした大雨などの影響を受け、遊園地部門や、ゴルフ部門の入場者数が減少したものの、公営競技部門では競馬の勝馬投票券の購入額に相当する売上高が好調に推移したことなどにより増収となり、売上高は159億9千8百万円(前年同四半期比3.1%増)となりました。

売上高の増加に伴い、営業利益は19億6千2百万円(同18.6%増)となり、経常利益は21億9千7百万円(同14.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億3千6百万円(同12.8%増)となりました。

セグメント(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)の業績は、以下のとおりであります。

<総合レジャー事業>

(公営競技部門)

公営競技部門は、地方競馬の好調を受けて、川崎競馬場、船橋競馬場とも勝馬投票券の購入額に相当する売上高は前年同四半期を上回り、増収となりました。

(ゴルフ部門)

ゴルフ部門は、9月の台風15号や10月の台風19号と台風21号がもたらした大雨の影響を受けて千葉よみうりカントリークラブが10日間クローズしたことなどにより、入場者数が減少し、減収となりました。

(遊園地部門)

遊園地部門は、6月から7月にかけての天候不順や、9月から10月にかけての台風の影響などにより、プールWA I及び遊園地エリアともに入場者数は減少し、減収となりました。

(販売部門)

販売部門は、遊園地部門の飲食物販に関連したイベントの減少や、プールWA I及び遊園地エリアの入場者数が減少したことなどにより、減収となりました。

以上の結果、総合レジャー事業全体の売上高は147億6千5百万円(前年同四半期比4.0%増)、営業利益は27億3百万円(同19.6%増)となりました。

<不動産事業>

不動産事業は、売上高は8億8千8百万円(前年同四半期比0.1%減)、営業利益は6億9百万円(同1.9%増)となりました。

<サポートサービス事業>

サポートサービス事業は、売上高は連結内部工事の増加に伴い35億9千1百万円(前年同四半期比53.8%増)、営業利益は2億1千7百万円(同66.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、653億7千7百万円と前年度末に比べ20億4千2百万円(3.0%)減少しました。

流動資産は59億2千2百万円と前年度末に比べ26億5千2百万円(30.9%)減少しました。これは、現金及び預金が15億8千8百万円減少したことに加え、受取手形及び売掛金が13億1千3百万円減少したことが主な要因です。

固定資産は594億5千4百万円と前年度末に比べ6億9百万円(1.0%)増加しました。これは、屋内遊戯施設新築工事等の着手金の支払等により有形固定資産が17億2千3百万円増加したものの、保有株式の時価評価額の減少等により投資有価証券が11億2千3百万円減少したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、359億8千2百万円と前年度末に比べ23億1千3百万円(6.0%)減少しました。

流動負債は65億2千1百万円と前年度末に比べ1億1千4百万円(1.7%)減少しました。これは、仮受金の増加等により流動負債の「その他」が3億1千2百万円増加したことに加え、営業未払金が3億3千2百万円増加したものの、未払法人税等が6億6千1百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は294億6千万円と前年度末に比べ21億9千9百万円(6.9%)減少しました。これは、長期借入金が15億7千7百万円、繰延税金負債が4億8百万円、長期預り金が1億9千6百万円減少したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、293億9千5百万円と前年度末に比べ2億7千1百万円(0.9%)増加しました。これは、保有株式の時価評価額の減少等によりその他有価証券評価差額金が7億7千9百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が10億5千1百万円増加したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は前年度末の43.2%から45.0%に増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、おおむね計画通りに推移するものと見込んでいるため、2019年5月10日発表の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,533,918	3,945,034
受取手形及び売掛金	2,735,330	1,421,489
たな卸資産	64,618	120,934
その他	243,208	435,478
貸倒引当金	△1,852	—
流動資産合計	8,575,224	5,922,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,970,463	26,359,600
土地	16,239,887	16,246,423
建設仮勘定	591,788	3,427,691
その他（純額）	3,355,939	2,848,235
有形固定資産合計	47,158,078	48,881,950
無形固定資産		
その他	70,324	67,551
無形固定資産合計	70,324	67,551
投資その他の資産		
投資有価証券	11,263,404	10,139,888
繰延税金資産	230,658	236,405
その他	122,868	128,955
投資その他の資産合計	11,616,931	10,505,249
固定資産合計	58,845,334	59,454,751
資産合計	67,420,558	65,377,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	880,795	1,213,430
短期借入金	1,070,000	1,070,000
1年内返済予定の長期借入金	2,103,276	2,103,276
未払法人税等	804,904	143,102
賞与引当金	134,319	36,653
その他	1,642,855	1,955,494
流動負債合計	6,636,151	6,521,956
固定負債		
長期借入金	4,548,212	2,970,755
繰延税金負債	2,008,260	1,600,205
退職給付に係る負債	553,921	596,706
長期預り金	24,061,727	23,864,810
その他	487,663	427,577
固定負債合計	31,659,784	29,460,053
負債合計	38,295,936	35,982,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,662	4,730,662
利益剰余金	17,097,819	18,149,618
自己株式	△2,285,910	△2,288,324
株主資本合計	25,595,602	26,644,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,531,825	2,752,096
繰延ヘッジ損益	△2,805	△1,405
その他の包括利益累計額合計	3,529,019	2,750,691
純資産合計	29,124,621	29,395,678
負債純資産合計	67,420,558	65,377,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	15,518,606	15,998,116
売上原価	12,394,612	12,459,138
売上総利益	3,123,993	3,538,977
販売費及び一般管理費	1,469,840	1,576,642
営業利益	1,654,152	1,962,335
営業外収益		
受取配当金	214,786	221,705
その他	73,674	38,473
営業外収益合計	288,461	260,178
営業外費用		
支払利息	27,781	22,836
その他	2,744	2,523
営業外費用合計	30,525	25,360
経常利益	1,912,088	2,197,154
特別利益		
固定資産売却益	—	456
工事負担金等受入額	41,666	—
特別利益合計	41,666	456
特別損失		
固定資産除却損	121,143	76,563
災害による損失	23,717	38,352
特別損失合計	144,860	114,915
税金等調整前四半期純利益	1,808,894	2,082,694
法人税、住民税及び事業税	569,482	717,196
法人税等調整額	△33,309	△70,632
法人税等合計	536,173	646,564
四半期純利益	1,272,721	1,436,130
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,272,721	1,436,130

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,272,721	1,436,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,025,647	△779,728
繰延ヘッジ損益	53	1,399
その他の包括利益合計	△1,025,594	△778,328
四半期包括利益	247,126	657,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,126	657,801
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、建て替えを予定している船橋競馬場の観覧スタンドの改修スケジュールが、当第3四半期連結会計期間において見積り可能な状況となったため、利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、取り壊し予定日までの期間で減価償却が完了するように耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1億4千9百万円減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,184,826	886,178	447,602	15,518,606	—	15,518,606
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,429	3,150	1,888,338	1,899,917	△1,899,917	—
計	14,193,255	889,328	2,335,940	17,418,523	△1,899,917	15,518,606
セグメント利益	2,261,182	598,363	130,920	2,990,466	△1,336,313	1,654,152

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,336,313千円には、セグメント間取引消去△16,305千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,320,008千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,757,973	884,902	355,240	15,998,116	—	15,998,116
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,307	3,150	3,236,567	3,247,025	△3,247,025	—
計	14,765,280	888,052	3,591,808	19,245,141	△3,247,025	15,998,116
セグメント利益	2,703,607	609,844	217,299	3,530,751	△1,568,415	1,962,335

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,568,415千円には、セグメント間取引消去△133,844千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,434,571千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。